

# ■令和7年度 大東中央幼稚園 学校評価

## 1. 本園の教育目標

### 一本園の教育理念

・「知・情・体」三位一体の総合全人教育

### 一本園では目指す幼児像として次の6項目を掲げる

1. 丈夫な体をつくる
2. 自分のことは自分でする
3. 人に迷惑をかけない
4. よく見たり聞いたりする
5. きまりを守る
6. 感謝の気持ちを持つ

## 2. 令和7年度、重点目標・計画

- 教職員の資質向上
- 保育内容・環境の再確認
- 防災への取り組み

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教職員の資質向上	年度初めに一年間の職員研修の内容と対象者について予め決め、意識をもって保育にあたった。現場の教員だけでなく、管理職も研修を受け見識を深めた。それぞれが園内での役割を明確にし、園運営の一員としての自覚と責任をもって取り組めるようにした。 園内の研修もすべて見直し、グループワーク等でそれぞれの良いところを見つけ自分自身も見直し、自己肯定感を高めていけるよう意識した。また、管理職との面談の機会を増やし、悩みや不安を共有し働きやすい職場環境を目指した。
保育内容・環境の再確認	本園が取り組む「総合幼児研究会」の保育内容だけでなく、公立園の公開保育に参加し知ること、幅広い保育の知識を持つことができるようにした。また、職員同士が話し合い「絵画造形」「音楽」の活動についても直接保育に繋が

	<p>る、担任が責任をもってクラスの運営を行う保育内容へと少しずつ改善を行った。環境については、これまでの慣例にとらわれず、本当に必要なものは何なのか、子どもの目線にたち、学年やクラスの枠にとらわれずに意見を出し合って、改善に努めた。</p>
<p>防災への取り組み</p>	<p>園内の一斉清掃を行うことで、危険な場所や物がいないか、避難経路に適しているかを見直し、不要な物を撤去した。非常勤職員を含む全職員が備蓄品の場所と内容を確認し、いざという時の持ち出し方等を把握した。さらに非常食・非常用トイレを追加購入しいざという時に備えた。</p>

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己点検・自己評価による評価結果は、概ね満足のいくものであったが、あくまでも、自己点検・自己評価ではあるので、個々で再検証し、重点的に取り組んだ内容も踏まえ、より充実した教育活動を行っていきたい。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>意識改革</p>	<p>教職員の仕事に対する意識改革を行いたい。子どもに対しては「教える」という姿勢になりがちだが、本来の教育は「引き出す」ことにある。時には「教える」ことも必要だが、子どもたちの能力や興味関心のあることを「引き出す」ための知識などを持って、保育にあたり、子どもたちの育ちにつなげていけるよう意識をもつ。</p> <p>また、保育以外の部分でも、職場での役割を自分自身で考え行動できるよう、研修やディスカッションを行っていききたい。広い意味での意識改革に取り組むべきと考えている。</p>
<p>家庭連携の充実</p>	<p>園での保育の様子や行事の様子をドキュメンテーションなどを用いて、来園なしでもお伝えできるようにしていく。公式の PTA の会が令和7年度からなくなり「有志の会」として新たに活動していただくにあたり、どのような連携をしていくのか模索中である。相互信頼に努めていききたい。</p>
	<p>経年劣化に伴い、いたんできていた部分や、長く使用していないものの保管など、倉庫などを含めた園内の整備を行いたい。費用がかかるものについては、優先順位を決め、</p>

園内環境整備	人力で出来るものに関しては、職員全員で協力して行っていきたい。必要なものを使いやすく、保育用具や制服等についても見直す機会にしたい。
--------	--

## 6. 学校関係者の評価

委員からは評価結果について、評価委員(有志の会)から「評価結果は概ね正しいと思われる」に全員回答いただき、ご意見・ご感想として「子どもと共に考え、計画、実践、成長だけでなく、人との関係性も共に培う環境作りが出来ている園になっている」「どの先生方も笑顔で元気よく子どもたちに接していてよい」「子どもたちが楽しく通えている」「卒園児は小学校へ入学すると良い面ではほかの子と差があり、行かせて良かったと毎回実感している」「これからも変わらない保育を受け継いでほしい」等々の評価を頂いた。頂いた意見は職員で共有し、今後の園運営に活かしていきたい。

## 7. 財務状況

公認会計士監査待ち